

同窓生のための会報誌

和敬会だより

第27号



「フィレンツェ残光」小林 琢（鎌倉女子大学講師・日本芸術協会理事）

鎌倉女子大学和敬会

〒247-8511 鎌倉市岩瀬 1420

☎ 0467-44-4119（毎月第1、第3火曜日の10時から14時）

和敬会HP <https://www.wakeikai.net>

鎌倉女子大学和敬会

検索



新しい学びのカたち、いよいよスタート

鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程

(e-learning course) 2025年4月開設

理事長 福井 一光

日本初の小学校教諭免許状が取得出来る通信制短期大学として、広く社会的にも注目されている本学のe-learning courseがいよいよ2025年4月からスタートします。この「和敬会だより」が発行される創立記念日の4月19日には、第一回入学式が挙行されます。

COVID-19の蔓延は、私たちのコミュニケーションの形式にも大きな変革をもたらしました。政府や自治体でも、企業や機構でも、そして教育の場でも、オンラインでの情報交換が常態化し、心理的にも技術的にも、その有効性を誰もが体験することになりました。AIの開発は、こうした機能をますます推し進めていくことでしょう。アフター・コロナになったからといって、折角獲得したツールを捨てるのは、誠にモッタイナイ。

恐らく、このコースを活用して下さる方々は、さまざまな事情から全日制授業に



参加出来ない就学希望者が考えられます。このコースの開設を推進した小泉裕子短期大学

部学部長は、こう言っております。「東京都教育委員会では『社会人から教員へ』と銘打ち、若手初任採用と平行し、二五歳以上の社会人特別選考枠を導入しています。また神奈川県教育委員会では秋期試験を実施し、元教職経験者や社会人経験者を対象とした特別選考枠を導入しています。このような社会人の採用が進められている中、働きながら教職を目指すリスキリングや、いったん退職をして教職を目指すリカレント教育へのニーズや期待がますます高まっています。これもまた必然の流れと言えるでしょう」と。

因みに、取得可能な学位、免許・資格は、以下の通りです。

学位：短期大学士（教育学）
教育免許状：小学校教諭二種免許状、幼稚園教諭二種免許状
資格：准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンペーンストラクター、秘書士

本学HPでより詳しい情報を手にして下さい。特に遠隔地にお住まいの和敬会の会員の皆様には、それぞれご縁にある方々に広げて頂ければ、幸いに存じます。



不易流行

会長 深山 喜美子

自然災害や異常気象、日本や世界の様々な出来事に不安を感じることが多く、子どもたちが健やかに、夢や希望に向けて成長できる時代になることを心から願う今日この頃です。

この数年、平穩に過ごせることや当たり前と思っていたことが大きく変化して、自分が思っていた当たり前が当たり前ではないうことに気持ちや新たな機会が多くなりました。一人ひとりの価値観が異なることは当たり前ですが、昔から当たり前前と思っていたことも、時代に合わせて変化する世の中は、これまで以上に柔軟な思考が求められる時代になっています。

「不易流行」という言葉との出合いは、二十年以上も前のことです。伝統的なものは本質をしっかりと理解して継承しつつ、世の中の変化に応じて新しいものを取り入れていく。そうすることで、長く継続していくことが可能になっていくと言われていきます。目標が明確であれば変化があっても大きく揺らぐことはなく、むしろより良い方向に進めていくことができると考えています。パソコンを有効に活用していても、深く考えるときは、紙と鉛筆を使う。電子図書やネット検索をしても、一ページずつ本をめくりながらの読書が大好きな私です。教育現場では、一人一台端末の活用が当たり前の今、変化を嫌うのではなく、何

のために変えていくのかを明確にして使い分けられよいのだと思います。

和敬会の活動においては、先輩方が築いてこられた活動をもとに、次の世代に繋ぐため、変更が必要な部分について幹事会で検討を重ねています。昨年のみどり祭では、「カフエ和敬会」を、大船キャンパスと岩瀬キャンパス中・高等部校舎で計四日間開催しました。クラス会の集合場所になったり、恩師や友人と楽しそうに歓談されたりして、卒業生の集う場が提供できたことに安堵しました。

地方支部の活動では、九州支部、北海道支部、関西支部、甲信越支部（新潟、長岡、松本）から支部の集いの報告をいただきました。地方支部の集いも、集まりやすい単位の小さな集いを大切にしながら、同窓生の縦横の繋がりを広げて会を継続する方法を工夫しています。支部長さんや参加してくださった皆様に感謝申し上げます。

母校も、この四月から短大の初等教育学科通信教育課程が開設されます。来年には、岩瀬キャンパスが男女共学になります。校名や制服も発表されました。母校の新たなスタートを応援してまいりましょう。

これまでの歩みを大切にしながら、多くの会員の皆様に参加していただける和敬会活動を工夫してまいります。今年度も、ご協力よろしくお願いたします。



自分の原点と

歯科医療に対する考え方



平成6年3月 初等部卒業

菅原 幹大

現在、大船駅笠間口近くで大船デンタルクリニックを開設しています。

三十数年前私が初等部四年生の時に新校舎ができ、晴れているときは校庭で、雨の日はピロティで遊んだ記憶があります。今も毎日の通勤で校舎前のバス停や正門の前を通ると懐かしさと同時にほっとする気持ちになります。

さて、皆さんが歯科に関する病気で思いつくのは虫歯と歯周病だと思います。この二大疾患は共に細菌感染症で、あまりにも身近に存在するもので誰もが罹って当然と思われるでしょう。しかし多くの他の病気とは異なり、本来大部分が予防できる病気だということです。以前は痛くなっ

識から、痛くなる前に歯科医

院に行く(予防歯科)ことがかなり浸透してきていると感じています。それでもまだ口腔内に対する意識が低い方も多く存在するのも現状で、日々いかに予防が大切かを伝えていきます。

また、実際の治療となると

基本的に歯科は外科治療となります。例えば虫歯を削って詰め物をしたり被せ物をする行為から、歯周病を治すために歯肉を切開し奥深い根の周囲をきれいにする歯周外科手術など、日常的に外科治療を行っています。すなわち一度虫歯や歯周病になってしまつと歯科医師が手を加えない限り治らないということになります。歯科医師も人間ですから色々な意味で限界があります。ミリ単位以下の作業の繰り返しです。一つの治療をどこまで追求できるかも歯科医師の判断に委ねられるわけです。そこで大切となるのが

第二代理事長である松本尚先生の教えの一つである「我慢して頑張る」が常に自分の頭の中にあります。他の職業

院内に導入している最新機器



も同様な部分もあるでしょうが、特に歯科医療は孤独で自分との闘いであり、技術力はもちろん、さらにそれを支える根性・プライドにかかっているとも言えると思います。

自分にとって鎌倉女子大学初等部の仲間とは特別な存在で、久しく会っていないくてもいざ再会するとすぐに昔に戻ってしまいます。これも当時の理事長先生を始めとして各先生方の教育・生活指導方針が体に染みみついているのではないかと思っています。現に自分は初等部の同級生(歯科衛生士)や初等部の後輩である弟(歯科医師)、その他素晴らしいメンバーと共に助け合いながら日々歯科医療に奮闘しております。これからも「我慢して頑張る」を胸に前進し続けます。

飯塚麗子先生に感謝

昭和32年3月 高等部卒業

田中 富士子(旧姓雲雀)

昭和26年中等部入学、昭和32年高等部卒業まで6年間指導していただきました。

戦後の荒れた校庭を中等部の3年間、体育の時間に先生方と一緒に鍬や鎌、シャベル等を使い、スキヤクサノオウ等の雑草を取り除き運動ができるよう整備しました。

中高を卒業し、社会人となり結婚、育児も一段落した頃、先生とお会いする機会があり1年に1回宿泊旅行や年数回のドライブに先生と同級生4名から8名で行くようになりました。宿泊旅行先では夜遅くまで学生時代のことや子供のことなどワイワイガヤガヤと賑やかに楽しい時間を過ごすようになりました。

先生が怪我をされ、秦野の介護施設「みかん」に入所され数年連絡が途絶えていましたが昨年友人から介護施設での面会ができることを教わり、お会いしたい気持ちでいっぱいになり先生のお気持ちも考えず押しかけてしまいました。先生は喜んで迎えてください



飯塚先生を訪ねて

定例化したランチ会

北海道支部長 西野 幸子

一昨年、10月第一水曜日に気軽なランチ会を開催し、参加された皆さんから気負わず楽しんだというお声をいただきました。来年も同じ日にここで、話がまとまり定例化することにしました。2024年は10月2日水曜日。第2回目のランチ会のご連絡を差し上げましたら、返信はがきに、交通機関の廃止、家族の介護、ひとりでは外出できない、仕事などで行きたいけど行けないと言えない声も届きました。参加された方々からは、元気に顔を合わせることが出来た私たちは幸せ者だとお声をいただきました。大先輩の仲良し4人組からは、みどり祭に北海道から参加予定との話を伺い感嘆の声も上がりました。また、本部からいただいた2025年の学校案内を皆で眺めて、母校の素晴らしい発展している姿に改めて、誇らしく感じたり、それぞれ昔を思い出したりで話が盛り上がり、とても楽しい一時を過ごすことができました。ただ、今回の参加者が皆シニア世代で、今後若い方々の参加や引継ぎ等について一抹の不安を感じています。北海道支部の皆様、どうぞ10月の第一水曜日ランチ会の参加をお待ちしています。



東北支部は手作りバッグで交流

東北支部長 三浦 ゆか

東北支部長を引き継いで8年目の三浦ゆかです。昭和62年児童学科を卒業し、現在青森県内の小学校に勤めております。東北支部は、広範囲にわたっており交通の便を考えると容易に集まることもなかなか難しい地域です。支部会が開催できないでいることを残念に思っております。会員の皆様は、寮生活経験者が多いので、同期の友達や寮生活で仲良くなった友人同士で連絡を取り合っているのが現状です。思いに、まずは青森県内で2・3年以内に開催したいと考えており現在検討中です。この数年は、十和田市に住む会員が集まり、東北支部会員に何かに残る実用性も兼ねた物を差し上げたいと思いい手作りバッグを制作しております。和敬会HPでも紹介しておりますが、希望の方はハガキか和敬会日よりある携帯番号へショートメールでお知らせください。



～感謝の気持ちを込めて～ 支部だより

能登半島地震と大洪水の二重苦の中で

北陸支部長 橋本 玲子

北陸支部の活動は、当番が会場を紹介開催しています。今年は私が当番で何とか集まれる会員でラインやメール等連絡手段として使い、私の栗園で一泊し開催しました。昨年主人を亡くし寂しかったのですが、夜中まで賑やかな会話が途切れることなく楽しい時間を過ごすことができました。まず、震災や洪水被害について、県外から沢山の応援メッセージを頂き本当に有難かったです。また、災害後の能登の現状（身内のトラブル、人間関係、政府への訴え、高齢化若者が少ない現状、補助金、今後能登の農業、衣食住の課題等々）について、問題を共有し合いました。また、いただいた学園からの学校案内を見ながら思い出を語り合いました。最後に「やはり人と人が集まって話すことが大事」という事に至り、これからも私達は、各々周りの人達と支え合いながら、頑張っていきたいと思えます。次回の予定は、支部の会員さんへの連絡方法を具体的に決めて開催していきますのでよろしくお願ひいたします。

四国地方での開催に向けて

中国四国支部 副支部長 杉原 尚江

大学を卒業してから30年以上たち、支部の懇親会には気楽によく参加させていただいておりましたが、副支部長をさせていただくようになって、どうしたら多くの方に参加してもらえるのか悩むことが増えるように思います。他の支部同様、中国四国支部は範囲がとて広く集まりにくい場所だと思えます。山陽地方（山口県、広島県、岡山県）から山陰地方（島根県、鳥取県）、瀬戸内海を挟んで四国地方（香川県、愛媛県、高知県、徳島県）へのアクセスに悩むことが多く、懇親会への参加に躊躇される方も多いのではないのでしょうか。まずは感染症や不安の比較的不ないタイミングをみて、四国での開催を目標に準備を進めていきます。もちろん山陰の方や山口県西部の方や岡山県東部の方も忘れていません。ぜひ、開催してほしい都市やお店などの希望を伝えていただきたいと思います。皆さんの参加しやすい要望を伺う窓口でありたいと思います。



東海支部

現在、支部の活動をしてくださる方を探しています。ぜひどなたかご連絡ください。



和敬会九州支部の会開催

九州支部長 吉田三知子

昨年の5月、久しぶりに九州支部会を佐賀市で開催しました。コロナ禍でなかなか開けず、やっとできた会でしたが参加者が5名と、とても少なくどうなるかと心配でしたが、そこは女性の会です。話は途切れることなく次から次へと話題が上がり、本当に5名？と思う程盛り上がりました。特に嬉しかったことは、初めて参加してくれた方が「参加して良かった。また来たいです。」と喜んでくれたことです。5名と本当に少なかったのですが「少なくとも続けることが大事ね」と言って別れました。どの支部も「会員の高齢化」が悩みと聞いています。九州支部も、今回のお誘いに「高齢になり他県に出掛けるのは無理になりまして」との返事が何件かありました。開催場所を各県に回してはいるのですが。今年度は「支部だより」を発行、来年度は福岡で支部会」の開催予定です。たくさんの方の参加を願っています。



小さな輪から大きな絆へ

甲信越支部長 岩佐由美子

令和5年度から甲信越支部長を引き継ぎ2年が経とうとしています。三県合同での懇親会の開催は立地的に難しく、多くの方に参加して頂けるようにと、県単位で開催する事に致しました。全会員の皆様へ案内状を送付するに当たり、和敬会深山会長及び事務局のご協力を得て、案内状を送付することができましたことに感謝しております。令和5年は山梨県、令和6年は長野県・新潟県で開催致しました。懇親会の開催を心待ちにしていた皆様と、楽しい語らいの時間を持つことが出来たことは本当に良かったと感じています。発送した案内に対し、返信ハガキの回収率は約40%と芳しくない結果でしたが、返信を頂いた皆様からは、労いや激励のお言葉も多数頂きました。また住所・氏名の変更連絡も寄せられ、近況を知ることが出来ました。会員の皆様への連絡方法や参加人数の拡大については、まだ課題がありますが、会員の皆様との繋がりや輪を広げていけるよう努めていきたいと思っております。今回は令和7年山梨県・長野県での開催を予定しております。



関東支部会開催に向けて

関東支部代表 今福 志保

令和元年に関東地区の和敬会会員の皆さまの親睦をはかり、輪を広げて参りたいとの願いから和敬会10番目の支部として関東支部が誕生致しました。残念ながら活動を始めた矢先にコロナ禍のため活動が出来ない状態が続き、支部会の開催が延期となっておりました。5年の時を経て「第1回和敬会関東支部会」開催の運びとなり、令和7年9月開催をめざし役員一同準備を進めております。関東支部の会員数は多く、関東支部会開催のお知らせ方法を考え、和敬会だより27号や鎌倉女子大学和敬会ホームページへの掲載、チラシやポスターを作成し、みどり祭にてお知らせさせていただきます。役員会は大船駅周辺で話し合いをしておりましたが、現在は岩瀬キャンパス内の「和敬会会館」をお借りして会合を開くことができるようになり、学生時代を思い出しながら楽しく活動しております。お一人でも多くの方々にご参集いただき支部会が開催されることを願っています。（最終ページ参照）



関西支部会へ兵庫の会へ

関西支部長 渡邊 昭子

和敬会関西支部が発足されてから幾年月、頻繁ではないものの、支部会員の皆様とお食事を共にしつつ学生時代のお話や近況などを語り合う集いが催されてまいりました。直近では、10月20日に神戸にて関西支部会へ兵庫の会へが開催されました。話題の花形はやはり寮生活の内容で、大学寮を経験してきた方の武勇伝や学長先生との親密な関係など、寮生ならではの体験談は面白さと興味深さに溢れ、今更ながら経験してみたいかと思わずにはいられません。また、話題の中から過去を懐かしみ、現在を鑑み、世情と照らし合わせながら学校と学長先生の教育方針に想いを馳せると、学生時代には思い至りなかつた様々な事柄に気付かされ、其々新たな気付きを得られているように思えます。支部での活動自体は、中々今までの内容以上の活発な活動にまで手が回らないのが現状ですが、支部会に参加したことのない方も、お気後れせずに参加できるように心がけてまいります。今後活動も続けて参りたいと思っております。



沖縄支部の地域交流

沖縄支部長 伊藝美智子

令和6年は元日に能登半島で起きた地震、夏の全国的な猛暑、大雨による土砂災害と異常気象や自然現象に不安を感じた年でした。沖縄は、アメリカの統治下を含め、今年戦後80年を迎えます。しかし、今でも世界の多くの地域で戦争や紛争が絶えず、多くの子供たちや民間人が犠牲になっていることに心を痛めています。7月に沖縄の戦争を語り継ぎ、戦争と平和、命の尊さについて考え人が幸せに生きていく意味を問い直す活動が評価され、会員の仲間が理事をされて表彰された学童疎開船「対馬丸」の犠牲者です。現在、沖縄は県外、海外から多くの方が訪れて交流が盛んになっています。先日は、沖縄支部の会員で小笠原流煎茶道沖縄支部60周年の記念式典に参加し、お家元や県外から多くの皆様とお茶で交流し楽しい時間を過ごすことができました。これからも、さまざまな団体、企業が進めている平和活動や地域への貢献活動など、私たち沖縄支部の会員も交流活動していけたらと思っております。





みどり祭 初・中高・大短



様々な人々の想いを咲かせて笑顔の花で彩りたい
という願いが込められたみどり祭



ゼミナール・校友会・有志教職員・地域連携団体らによる展示や発表が行われました。
また、第30回目を迎えた節目として、実行委員会による特別企画も行われ大いに盛り上がりました。

大学テーマ

百花繚乱



中等部生は、1年生から3年生が縦割りで活動しての学習発表、高等部生は、クラスごとにゲームなどのイベントを実施し、他にも教科の展示やクラブ活動の発表が行われました。

中・高等部テーマ

未来に繋げよう 伝統と輝く笑顔



日々の授業で取り組んだ課題や、図工で制作した絵や工作はもちろん、国語・算数・理科・生活などの教科といくつかの課内クラブからさまざまな種類の作品を出展しました。

初等部テーマ

みんなが育てた芸術の森 輝く宝を探し出そう



地方支部・支部長

- 北海道支部
- 東北支部
- 甲信越支部
- 北陸支部
- 東海支部
- 関西支部
- 中国・四国支部
- 九州支部
- 沖縄支部
- 関東支部

※支部の運営に協力していただけの方は事務局までご連絡ください

令和5年度
和敬会収支決算書

収入の部

費目	決算金額
同窓会費	2,747,500
雑収入	2,000
預金利子	461
前年度繰越金	89,568,177
合計	92,318,138

支出の部

費目	決算金額	
事業費	名簿管理	1,077,668
	和敬会だより出版費	3,614,327
	支部費	899,124
	H P 費	302,168
	みどり祭費	124,641
運営費	445,008	
事務費	396,940	
設備・備品費	260,574	
通信・連絡費	70,577	
消耗品費	63,473	
和敬会事務室使用料	288,000	
慶弔費	50,160	
総会費	0	
学校法人鎌倉女子大学へ寄付	10,000,000	
支出合計	17,592,660	
繰越金	74,725,478	
合計	92,318,138	

上記の通り相違ないことを報告いたします。

令和6年8月3日

会計監査

丸山典子
鈴木百合子

カフェ和敬会 ~卒業生の集いの場~

今年は、大船キャンパスでの出展と、5年振りに岩瀬キャンパスでも出展しました。卒業以来、恩師や友人と再会して、話に花を咲かせ、中には子どもと一緒に訪れた卒業生もいました。また、メッセージボードには訪れた卒業生や友人から先生や在校生に向けたメッセージが送られました。



大船キャンパス



岩瀬キャンパス



令和7年(2025年)みどり祭のお知らせ

- ・令和7年11月1日(土)、2日(日) 大船キャンパス(大学)
 - ・令和7年11月8日(土)、9日(日) 岩瀬キャンパス(幼、初、中、高)
- 卒業生の集いの場「カフェ和敬会」として参加します。
詳しくは、鎌倉女子大学 和敬会HPにてご案内します。

訃報

山口宇宙先生

元鎌倉女子大学中・高等部教諭
令和6年2月25日ご逝去

飯塚麗子先生

元鎌倉女子大学中・高等部教諭
令和6年6月3日ご逝去

鈴木洋先生

元鎌倉女子大学初等部部长
令和6年4月24日ご逝去

内藤昌孝先生

元鎌倉女子大学教授
令和6年8月4日ご逝去

望月英男先生

元鎌倉女子大学教授
令和7年1月9日ご逝去

享年97歳

享年83歳

享年82歳

享年95歳

享年86歳

謹んで哀悼の意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

★和敬会会館の利用について

岩瀬キャンパス西館1階にある「和敬会会館」はクラス会や打ち合わせ等に利用できます。校内の一教室ですので使用時間や日時等については、学校との調整が必要ですが、和敬会事務局に連絡、相談いただきぜひご利用ください。

ご利用方法につきましてはホームページをご覧ください。

事務局からのお知らせ

住所・氏名等の変更

①二次元コードを読み込み
【鎌倉女子大学和敬会】
「名簿情報変更届」から
入力ください。



②郵便（はがき・封書）での
変更は、氏名・生年月日・
卒業学校・届いた封書の
宛名シールのバーコード
下部に記載の8桁の番号
を記入の上、変更事項を
お知らせください。

クラス会や同窓会などの
様子を和敬会だよりで紹介
します。ぜひ事務局にご連
絡いただきたくよろしくお
願いいたします。



関東支部会 開催のお知らせ

日時 令和7年9月6日(土)
12時~14時(受付11時30分)

場所 鎌倉女子大学 大船キャンパス
食堂棟 1階カンティーン

会費 5,000円

内容 関東支部会員の皆さんの初顔合わせ
や親睦会を兼ねた支部会
申込締切 5月末日

※キャンセルは7月末日迄にお願いします。
(以降の場合全額をご負担頂きます)

申込方法 参加者のみ葉書をご用意いた
だき左記の通り記入の上、ご投函ください。
連絡先 今福電話番号は、P6 地方支部
支部長宛にあります。

支部会に出席します
①最終卒業の初・中・高等部・大学
学部学科名など
②卒業年 年3月
③ご芳名(旧姓) フリガナ
④ご住所 〒
⑤お電話 (日中連絡の取りやすいもの)

茨城県つくば市香取台
B五七一二二〇〇
今福 志保 行

※個人情報につきましては、支部会の目的以
外に使用することはありません。

◎お近くのお知り合いの卒業生等とお誘い
合わせの上、ご参加くださいますようお願い
いたします。心よりお待ち申し上げます。

鎌倉女子大学からのお知らせ

鎌倉女子大学では、卒業生・教職員が利用できるコミュニケーションサイト、CNS (Communication Networking Service) を開設しています。このサイトでは、「和敬会だより」だけでなく、「学園だより」や「緑苑」についてもご覧いただけるほか、卒業生同士の交流を深めるための友人検索機能等もご利用いただけます。鎌倉女子大学CNSをぜひご活用いただければ幸いです。ご利用の際には、下記リンクよりサイトにアクセスし、ご登録をお願いいたします。

鎌倉女子大学CNSサイト <https://cns.kamakura-u.ac.jp/>



大学ホームページ「卒業生の皆さま」のページ内「CNS」
アイコンからもアクセス可能です。

※現在は、「鎌倉女子大学（大学院・短期大学部を含む）」の卒業生に限り登録可能です。
「初等部・中等部・高等部」の卒業生の登録については、今後改めてご案内する予定です。
※2023年10月10日以前にCNSを利用されていた方も、新規登録をお願いいたします。

寄付募集サイトについて

学校法人鎌倉女子大学では、寄付募集を行っております。
ご支援をお考えの方は、下記サイトをご覧ください。

【寄付募集サイト】<https://www.kamakura-u.ac.jp/donate/>

【お問い合わせ】学校法人鎌倉女子大学 事務局経理部経理課 (募金担当)



鎌倉女子大学

<https://www.kamakura-u.ac.jp>

大船 キャンパス	大学院	大学 家政学部 児童学部 教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL.0467-44-2111(代表)		JR「大船駅」下車、徒歩8分
岩瀬 キャンパス	高等部	中等部	初等部 幼稚部
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 TEL.0467-44-2200(代表)		JR「大船駅」下車、バス約10分

あとがき

令和6年は元日の能登半島の地震、地球温暖化と気候変動による記録的な猛暑、台風による甚大な被害と自然の厳しさを実感した年でした。特集ページは支部活動の様子をお届けしました。同窓のお仲間として楽しい時間を過ごされた様子は「横軸だけでなく縦軸でつながることが大切だと改めて感じました。」
岩瀬キャンパス新校舎でのみどり祭「カフェ和敬会」卒業生の集いの場には、たくさんの方にご来場いただき、メッセージボードには、お友達や先生方へのメッセージをいただき大盛況でした。